

忘れまい豪雨災害

本日の大雨警報に際し、児童のお迎えに来ていただき、ありがとうございました。今年度訓練はありませんでしたが、各家庭でシミュレーションしていただいていたおかげで、児童をスムーズに保護者の皆様に引き渡すことができました。



さて、呉市においては、平成30年7月6日に発生した豪雨災害を教訓として、児童生徒に「自然災害から自分の命は自分で守る」という意識の向上と、災害の記憶を風化させることなく次代へ継承していくことを目的に、今年度より7月6日を含む1週間を「**呉市学校防災週間**」と設定し、その間、各学校の実情に応じて防災に向けた取組を行うこととなりました。

本校児童も、当時、家の近くで土砂が崩れたり、川が氾濫・増水したりしたことを身近に体験してきました。このような災害は、今後も起こりうるという危機感をもたせ、「自分の命は自分で守る」という意識を高めさせたいと思います。

本校では、本日7月6日の4校時に、各学年の実態に応じて防災に係る授業を実施し、正午のサイレンに併せ黙祷しました。各学年で行った授業について、以下紹介します。御家庭においても、防災について話し合ってみてください。

【1年】



バケツの水をひっくり返すくらいの雨よ。



通学路を歩き、自分達の住む地域では、災害からくらしを守るために、どのような取組をしているか知り、自分達にできることを考えることができる。通学路にあった標識を基に、自分達にできることを考える。(生活科)

【2年】

このサイレンは、何のためだろう？



「町探検」で見つけたことを教え合い、地域にある施設や自然を知り、地域に親しみをもつとともに、安全にくらすために自分達にできることを考えることができる。(生活科)

【3年】



水害や土砂災害が起こった地域の事例を通して、災害から地域を守るために人々はどのような工夫や取組をしているのか理解することができる。(学級活動)NHK for school 視聴

【4年】



風水害からくらしを守るために、市がどのような取組をしているのか関心をもち、自分のくらしを守るためにできることを考えることができる。(社会科)呉市の取組の紹介 家族とできる備えについて考える。

【5年】



自然災害によるけがの防止をするために、①気付く②安全な行動③環境を整える④日頃の備えが必要であることを理解することができる。(保健)災害にひそんでいる危険と対策について考えさせる。

【6年】



西日本豪雨災害について想起することを通して、災害への備えや対応について考えることができる。(学級活動)



日々の生活が、家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。

(道徳)「土石流の中で救われた命」

【コスモス】



土砂災害から命を守るために大切なことや避難の仕方を通して、土砂災害時の行動の仕方を理解することができる。(自立活動)



雨が降ると川や溝の水量が増えて危険であることを紙芝居で知り、大雨の時期は水のあるところに近寄らないことを理解できる。(学級活動)

今日の給食には乾パンが出ました。

